

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日更新

事務事業名		農業制度資金				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	齋藤 和広
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 10287	根拠法令	合志市農業制度利子補給要綱 熊本県農業制度資金利子補給費補助金交付	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	効率的かつ安定的な経営体を目指す農業者に対し、経営改善のために必要とする資金について利子助成を行うことにより、合志市農業の健全な発展に寄与することを目的として、予算の範囲内において、認定農業者等に対し、農業経営基盤強化資金等に係る利子助成金を交付する。借入金の返済が、農業経営にとって大きな負担となる場合もあり、農業経営の維持安定のため、その利息負担を軽減しようとするため。本事業によって、農家の負担が軽減されている。
【業務の流れ】	・利子助成対象に対して助成金の支払事務及び県補助金申請事務 【事務の流れ】 1. 県への交付申請：①県より対象者のブルーリスト・計算明細書等の送付→内容確認→疑義→県より回答 ②県へ補助金交付申請 ③交付決定 ④請求書提出 ⑤補助金交付 2. 資金借入者及び金融機関：①補助金申請 ②交付決定 ③支払い
【主な予算費目】	通信運搬費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	利子助成対象に対して助成金の支払事務及び県補助金申請事務	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 金融機関及び農業者等に対して利子補給補助金交付の一連事務及び県補助金申請事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 農業制度資金新規申請件数 イ:	予算の主な増減の理由 負担金補助及び交付金について、資金返済や資金助成期間が終了した方、繰り上げ償還により完済した方がいたため、総額として減となった。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	農業経営改善資金等を借り入れている認定農業者等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 利子補給対象者数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	利子負担に伴う経済的な負担を軽減させる (負担が軽減される)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % ア: 利子負担の軽減度 (補助額÷利子負担額) イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 事業の意図が、利子負担軽減のため、その軽減度を設定。軽減度は前年度並み。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア 件		9	10	8	25	8	8	8	8
② 対象指標	ア 人		28	23	23	22	23	23	23	23
③ 成果指標	ア %		10.46	10.19	10	10.2	10	10	10	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	1,178	1,057	955	912	1,000	1,082	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,158	998	941	857	1,106	1,024	
		(A) 事業費計	千円	2,336	2,055	1,896	1,769	2,106	2,106	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	1,780	1,674	1,992	0	1,992	1,593	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,116	3,729	3,888	1,769	4,098	3,699	0		

事務事業名	農業制度資金	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 市町村が利子補給する資金については新規の申請はなかったが、市特別融資制度推進会議で認定するスーパーL資金や農業近代化資金等については、平成26年度は9件の申請があった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新規での資金借入れがあれば目標に近づく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 借入年月日現在で、利子補給率は定まる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 利子補給については、全国的な制度なため市単独で補給率を下げることは出来ない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 利子助成金支払い及び県補助金交付事務のため、職員以外での対応できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 利子補給対象者は限定されているので、不公平でない。また、借入金の本質から鑑みて、妥当な利子補給である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付及び申請といった事業内容からして、行政での対応しかできない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

安定した農業経営の維持が厳しい農業者に対し、収益性の向上による農業経営の改善を図るための資金制度であるため、今後も、県・金融機関等と連携し、個々の農業者の状況に応じた支援等を行っていく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						